

地域の方とのふれあい交流会

～芸術、スポーツの秋を一緒に感じよう～

教育課程上の位置付 特別活動

実施概要

地域住民の方々を招いての活動は、今回が初めてです。活動は、体育館に参加者を招いて、小学部・中学部・高等部の全学部の児童・生徒が参加し、各学部、各学年で考えた取り組みを行いました。小学部は1、2年生が「くまくま物語」、中学部は3年生が「竹取物語」の演劇を披露し、高等部は全員が参加して、混合のチームを作り、6つのコートでテーブルポッチャを行いました。それぞれの劇、ゲームの後には、各学部の児童・生徒が参加者に感想を聞きました。

- 活動参加者** 当校 生徒…79人 担当教員…25人
- 内訳** 交流先 参加者…11人
- 交通手段** 当校と自治会との距離はおおよそ800m
徒歩で来校・訪問 約5分

活動報告 実施日：11月20日(月)

活動は、生徒代表によるはじめの言葉と校長挨拶で始まりました。始めに、小学部1、2年生による「くまくま物語」では、出演した児童全員が、一人ずつ演じる場面があり、その場面では、参加者から多くの拍手をもらいました。

中学部3年生による「竹取物語」では、生徒が参加者がなじみの歌を歌ったり、ユーモアを交えた表現や言葉を使ったりして、参加者を笑顔にする場面が多く見られました。それぞれ劇が終わると、児童・生徒の代表が参加者に感想を聞き、うれしい感想をもらって、児童・生徒から拍手が起きました。

高等部は、生徒全員が参加して、参加者と混合で1チーム4人の12チームを作り、テーブルポッチャのゲームを行いました。

赤と青のチームに分け、6つのテーブルにそれぞれ赤と青のチームを配し、テーブル上の白い用紙の上に、赤チームは赤ボール、青チームは青ボールを交互に2投して載せ、載っているボールの数を競いました。生徒も参加者も、着地を成功させると歓声を上げて一緒に喜び、失敗すると一緒に残念がるなど、ゲームを楽しんでいました。

当日のスケジュール

- 9:30 学校、自治会、SSC、都教委4者事前打合せ(校長室)
- 9:45 小学部1、2年生、中学部3年の児童・生徒体育館に集合
- 9:50 参加者(地域住民)が第一体育館に到着(ミーティング室で待機)
- 10:00 生徒が参加者を体育館に案内し、拍手で歓迎
- 10:05 開会 はじめの言葉(生徒)、校長挨拶、活動の説明(教員)
- 10:10 小学部1、2年生による演劇披露「くまくま物語」
- 10:35 中学部3年生による演劇披露「竹取物語」
- 11:50 高等部生徒全員、体育館に集合
- 12:00 高等部によるテーブルポッチャ交流会
(6チームで対戦。チーム分け時に自己紹介)
- 12:35 参加者(地域住民)からの感想、おわりの言葉(生徒)
- 12:45 高齢者退場の後、閉会



自治会のみなさん、初めてのポッチャ体験

■活動のために準備したもの

演劇用背景の絵や舞台装置、BGMなど

■工夫したところ

一部の児童・生徒だけの活動ではなく、小学部・中学部・高等部の多くの児童・生徒が活動に参加できるように企画しました。劇の発表では、自治会の方になじみのある歌を歌ったり、ポッチャ交流では全員が楽しめるようにルールを変更したりしました。

■実施にあたって注意したところ

劇を披露した後に、参加者の方々に感想を聞くために生徒がインタビューをしたり、ポッチャのチーム分けで、簡単なゲームをしたりしました。短い時間でしたが、できるだけ参加者の方々と児童・生徒が交流する機会を多くもてるように工夫しました。

■良かったと思うところ

学校のすぐ近くに住んでいる自治会の皆様とは、普段は関わりがありませんが、このような機会をもったことで、今後交流するきっかけができたことが良かったです。

■今後に向けての学校からの抱負

今回の交流会をきっかけに、このような活動を継続していくことで、地域とのつながりを深めていきたいです。年一回の行事だけではなく、普段から学校の行事に招待し、「顔見知り」になることで、災害時など、困った時にお互いに助け合える関係を構築していきたいと思いました。

当校は、小学部・中学部・高等部からなる肢体不自由特別支援学校です。平成32年には隣接する知的障害特別支援学校の都立南花畑特別支援学校と統合し、肢体不自由教育部門と知的障害教育部門を併置する新たな学校となる予定です。当校では、これまで近隣の小学校・中学校・高等学校と交流及び共同学習の実施や、隣接する自治会(団地)との交流はありますが、社会貢献活動は行っていませんでした。

活動の感想

生徒・教員の感想

生徒

- 始めは緊張して戸惑いましたが、テーブルポッチャのゲームをしているうちにだんだん仲良くなって、うれしかったです。
- 一緒に活動をしているうちに、地域の方との一体感がもてて良かったです。自分は卒業してしましますが、今年で終わりではなく、来年も社会貢献活動をしてもらいたいです。

教員

普段、社会から支援を受けている児童・生徒の多い本校において、どのように社会に貢献したら良いのかイメージがなかなかもてないまま当日を迎えました。しかし、児童・生徒と地域の皆様が、ふれあい、楽しんでいる様子を見て、気付くことができました。何かをしてあげるといふ訳ではなく、一緒に活動して楽しむことで、笑顔が増え、そのことが結果的に社会に貢献することになるのだと思いました。

団体の参加者・担当者の感想

参加者

- 皆さん、一生懸命やっているのに感動しました。初めて伺いましたが、大変良かったと思います。
- 今日は、楽しく過ごさせていただきました。ポッチャは、意外に難しかったです。劇は、面白かったです。ユーモアたっぷり良かったと思います。
- 皆さん、一生懸命やっているのに感動しました。初めて伺いましたが、大変良かったです。これからも頑張ってくださいと思います。
- 大変楽しかったです。中学生の劇は、ユーモアや今はやりのものもあり、楽しかったです。小学生の劇は、かわいくて良かったです。

自治会長

小学部の劇と中学部の劇を見せていただいた後に、ポッチャ大会ということで自治会の皆さんと参加させていただきました。劇は生徒さんが一生懸命やっている姿を見て、皆感激したようです。ポッチャ大会は我々の誰一人もやったことがなく、多少不安があったみたいですが、競技の中で生徒たちとふれあい、会話もできるようになって仲良くなり、別れの時にはハイタッチをしたくらいでした。学校を出てからも参加者同士で「おもしろくて、楽しかった」と感想を言いながら帰りました。

■実施までの経過 ※(コ)：コーディネーター

- 8月1日 (コ)、学校を訪問。担当教員と打合せ
- 9月1日 担当教員と(コ)、自治会長に当事業を説明し協力を依頼。自治会長、快諾
- 9月21日 (コ)、自治会担当者に保険について説明

交流先



保木間第五団地自治会

住 所：東京都足立区南花畑5丁目15番

■施設概要

平成29年12月現在830世帯、居住者約1500人
会長1名 副会長3名
専門部(広報部、交通部、施設管理部、保健衛生部、福利厚生部、青少年部、防犯防火部、防災組織)



ユーモアあふれる劇に、笑顔がこぼれます



みんなで協力してポッチャを楽しみました